

まちの話題

姫路菓子博キャラバン隊が来訪

来月4月18日から5月11日までの24日間にわたって姫路城周辺で開かれる「第25回全国菓子大博覧会・兵庫」（姫路菓子博2008）のキャラバン隊が4月27日、開幕1年前記念式典が行われる姫路市役所に向けて豊岡市の県豊岡総合庁舎を出発しました。

また、キャラバン隊は、途中で豊岡・養父・朝来の各市役所を訪問し、日本各地から集まったお菓子の展示や販売など多彩な催しが行われる博覧会の魅力をPRしました。

10月末までの第1期前売り券は、大人が1,500円（当日券は2,000円）で、JR西日本のみどりの窓口やコンビニなどで販売されています。

氷ノ山・ハチ高原・東鉢伏高原で夏山開き

5月12日、氷ノ山・ハチ高原・東鉢伏高原の夏山開きがハチ高原交流促進センターで行われました。

神事には、行政関係者や観光関係者ら約40人が参加。出席者によってくす玉が割られたほか、大空からパラグライダーが舞い降りて山開きを祝いました。また、大規模地すべりの発生や記録的な暖冬に見舞われたことから、参加者は例年にも増して夏山シーズンの安全と繁栄を祈願していました。

翌13日には「第9回氷ノ山・鉢伏山新緑登山大会」が行われ、市内外から421人が参加。新緑の映える登山道を歩き、養父市の大自然を楽しみました。



市役所を訪れたキャラバン隊(右から3人)と藤田県議ら



夏山開きを記念して空を舞うパラグライダー

養父童話のまちづくり推進会議が文部科学大臣表彰を受ける

このたび、童話の読み聞かせ活動に取り組む「養父童話のまちづくり推進会議」が、子どもの読書活動優良実践団体として文部科学大臣表彰を受けました。

同会議は、養父地域の保育所、幼児センター、保護者会、幼稚園、小・中学校、PTA、地域住民が運営する校区公民館、保健センター、ボランティア、行政で組織され、平成14年に発足。子どもの読書活動の振興を共に考え、読み聞かせ活動を実践しています。

これらの活動により、養父地域での「おはなし会」は、平成17年度で約100件を超えて参加者は延べ5268人に達し、読み聞かせボランティアも12団体62人となっています。また、養父公民館図書室の図書貸し出し数も年々増加するなど、読書の取り組みが着実に地域に広がっています。



さまざまな機会に読み聞かせ活動に取り組む